

YMS 2019年度 解答速報

東北医科薬科大学

YMS HPIにも
掲載中!



<https://yms.ne.jp/>

【生物（解答）】

【Ⅰ】

- 問 1
- 1 - ⑩
 - 2 - ⑤
 - 3 - ①
 - 4 - ④
 - 5 - ⑥
 - 6 - ③
 - 7 - ⑦
 - 8 - ⑨
 - 9 - ②
 - 10 - ⑧
- 問 2
- 11 - ②
 - 12 - ⑤
 - 13 - ③
 - 14 - ⑨
 - 15 - ⑥
 - 16 - ⑦
 - 17 - ⑧
 - 18 - ⑩
- 問 3
- 19 - ②
 - 20 - ④
 - 21 - ①
 - 22 - ⑥
 - 23 - ⑧
 - 24 - ⑩

【Ⅱ】

- 問 1
- 25 - ⑨
 - 26 - ②
 - 27 - ③
 - 28 - ⑥
 - 29 - ⑦
- 問 2
- 30 - ①
 - 31 - ③
 - 32 - ⑦
- 問 3
- (1) 33 - ④
 - (2) 34 - ④
 - (3) 35 - ③
 - (4) 36 - ②

【Ⅲ】

- 問 1 (1)
- 37 - ⑤
 - 38 - ⑦
 - 39 - ⑥
- 問 2 (1)
- 40 - ③
 - 41 - ⑩
- (2)
- 42 - ⑦
 - 43 - ⑨
- (3)
- 44 - ⑥
 - 45 - ⑩
 - 46 - ②
 - 47 - ⑤
 - 48 - ⑦
- (4)
- 49 - ⑦(②)
- (5)
- 50 - ②
- 問 3 (1)
- 51 - ②
 - 52 - ⑤
- (2)
- 53 - ②
 - 54 - ④
 - 55 - ⑨
 - 56 - ⑦
 - 57 - ⑥
 - 58 - ⑧

【生物（講評）】

医学部の新設から4年目となる今年は、全問マークシート形式、大問3題での出題で、過去3年の入試と同様の出題形式であった。ただし、マーク数は、1年目が38、2年目が50、3年目が55、そして今年が58というように年々増えて来ている。

【Ⅰ】は、血液および腎臓に関連する出題。原尿量を求める計算問題（問3[22]）の他は全問が基本的な知識問題であり、選択肢も記載されていることから、解答に時間はかからない。ここでの失点は避けたい。

【Ⅱ】は、ヒトの上肢の神経を刺激した際に、手の筋肉で起こる反応に関する出題。【Ⅰ】と同様に、興奮の伝導速度を求める計算問題（問3(2)[34]）の他は基礎～標準的な知識問題であり、高得点が狙える。

【Ⅲ】は、タンパク質（インスリン）の機能発現についての出題で、やや難易度が高い問題が出題されており、ここで差がつきやすい。インスリンのシグナル配列についての問題（問1(2)[42][43]）などは発展的である。また、「ゲノム編集」技術（CRISPR/Cas9）に関する本格的な実験考察問題（問3(2)[53]～[58]）が出題されており、文章や図の読み取りなどで解答に時間を要するので、苦戦した受験生が多かったであろう。

全体として、基礎～標準レベルの知識問題が多いが、一部にやや難易度の高い出題が見られることから、一次突破ラインは、75%程度と予想される。